

人と自然——ある芸術家の理想と挑戦

フンデルトヴァッサー展

2006年4月11日(火)―5月21日(日)

開館時間 午前9時30分―午後5時(入館は午後4時30分まで)

夜間開館 金曜日は午後8時まで(入館は午後7時30分まで)

休館日 月曜日(但し5月1日「月曜開館」)

京都国立近代美術館 (岡崎公園内)

主催 京都国立近代美術館

共催 NHK京都放送局、NHKさんきょメディアプラン

後援 オーストリア大使館

協力 日本航空、京阪電鉄、企画協力 アプトインターナショナル

Reminders of an Ideal: The Vision and Practices of HUNDELTWASSER



Remainders of an Ideal: The Vision and practices of

人と自然…ある芸術家の理想と挑戦 フンデルトヴァッサー展

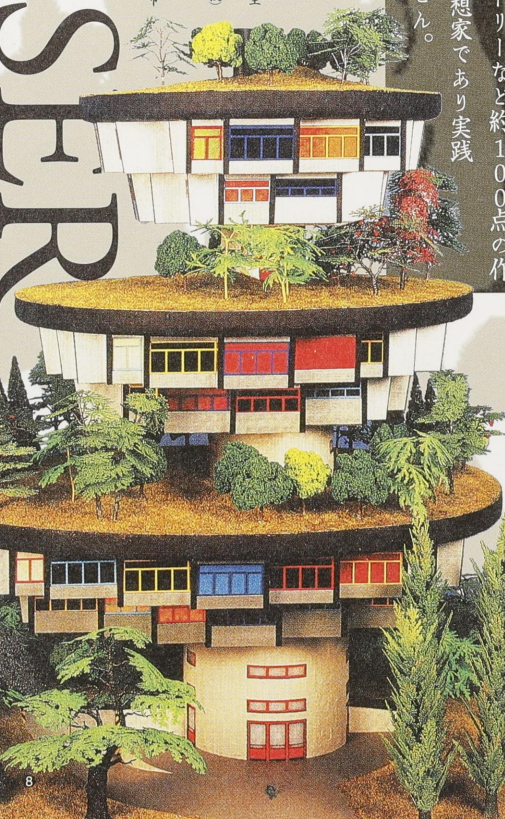
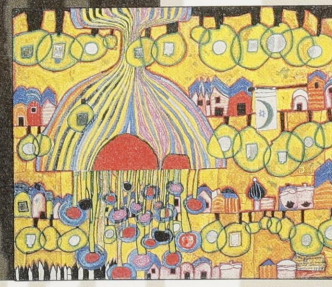
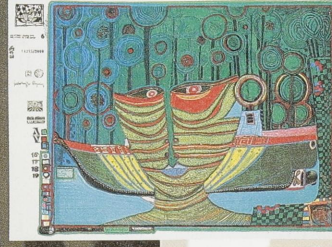
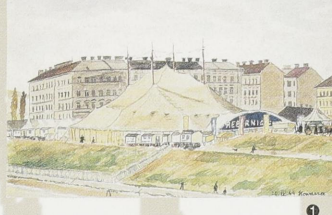
● 記念講演会
日時 4月22日(土) 午後1時
場所 京都国立近代美術館1階講演室
講師 加藤尚武
(鳥取環境大学学長 京都大学名誉教授
鳥取環境大学学長のいま)
演題 環境倫理学のいま
*定員100名 聴講無料
午後1時から会場受付で整理券配布

鮮烈な色彩と渦巻く線を駆使する画家として、また人と自然との共存を訴え続けたエコロジストとして日本にもなじみの深い、オーストリアを代表する美術家フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー(1928・2000)の業績を回顧する展覧会を開催します。

フンデルトヴァッサーは、アンフォルメル運動など第二次大戦後の美術が華やかに展開し始めた1950年代中頃から、視るものを幻惑する強烈な色彩と「生と死を象徴する」渦巻く流線を用い、画面の中で樹木も建物も人間も、全てが同化し渾然一体になる絵画世界を創造して大きな注目を集めました。

彼の芸術の根底にあったのはヨーロッパ近代の合理主義に対する強烈な批判であり、また自然回帰の願望であったと言えます。彼は早くも1958年にオーストリアとドイツ各地で「カピ草宣言・建築に於ける合理主義に対して」と題する講演を行い、また1968年にウィーンでの「アドルフ・ロースからの脱出」の講演によって現代の不毛な建築学からの決別を宣言しました。その後も彼は絵画制作と平行して、合理主義が生み出してきた現代社会の環境破壊の危機を訴え続けました。いま振り返れば彼のこうした活動は、1968年前後から世界各地で先鋭的な建築家やデザイナーたちが提起した近代建築や近代デザインに対する異議申し立てと共鳴関係にあり、1980年代のポストモダン論議の核となった理念を先取りした、きわめて実践的な直接行動であったと理解することができます。

本展は彼の制作活動を包括的に回顧すると同時に、彼が生涯を通じて取り組んだ環境保護活動の側面と、人と自然との理想的な関係構築を目指した「建築」に焦点を当てます。彼が理想とした人と自然との共生と調和を雄弁に語る大型の建築模型、絵画、環境保護活動の過程で制作されたポスター、版画、タペストリーなど約1000点の作品により、美術を通じて自分の理想を実現しようと挑戦を続けてきた、美術家であり思想家であり実践家であったフンデルトヴァッサーを、いま再び考えてみることの意義は少なくありません。



● 観覧料
一般 830円(700円/560円)
大学生450円(350円/250円)
高校生250円(200円/130円)
中学生以下は無料 ※(内は前売券/20名以上の団体料金
● 前売券発売所チケットぴあFアミニマル・ロード686566、
ローソン(0120-575311)ほか主要プレイガイド
● フォンサービス・展覧会の案内 07576119900
● ホームページ: <http://www.monika.go.jp>
● 展覧会のお問い合わせ 京都国立近代美術館 電話 6068344
京都市左京区岡崎円勝寺町 電話 07576114111
● 交通 JRR近鉄京都駅前Aのりばから市バス⑤岩倉行又は⑦
錦林庫行 京都都会館美術館前下車 JRR近鉄京都駅前Dのりば
から市バス⑤(急行)錦林庫行 京都都会館美術館前下車
● 京阪 京阪三条駅から市バス⑤岩倉行又は
⑦錦林庫行 京都都会館美術館前下車
● 阪急 阪急三条駅から市バス⑤岩倉行又は
⑦錦林庫行 京都都会館美術館前下車
● 地下鉄 東山線 東山駅下車徒歩約5分
● お車でのご来館の場合、岡崎公園駐車場
地下をのりこ利用の無料入館者は、駐車
場の割引(一台1名)を受けられます。
で駐車券をお持ちの上お越しください。

